

社会福祉法人 日本点字図書館

感謝録

2025 年 7 月

数多くのご支援に感謝いたします。



2025 年は点字が誕生して 200 年です
(写真は日本点字を考案した石川倉次)

感謝の言葉

社会福祉法人 日本点字図書館

理事長 長岡 英司



全国の多くの皆様から日本点字図書館にお寄せいただきました尊いご厚志に対する関係者一同の感謝の想いを込めて、本冊子をお届けいたします。

世界中で広く使われている6点式点字が誕生した1825年から、今年は丁度200年の節目です。この優れた触読文字を考案したのは、幼くして失明した16歳のフランス人ルイ・ブライユでした。ところが、ブライユの点字はすぐに普及したわけではなく、母校であり教師として働いたパリ盲学校がこれを正式に教育に採用したのは、ブライユの病没から2年後の1854年でした。明治期に入って点字は日本にも紹介され、1890（明治23）年に石川倉次によって、日本語の点字が翻案されました。

本間一夫が「日本盲人図書館」という名称で当館を創立したのは、1940（昭和15）年でした。視覚障害者に点字図書を貸し出すことで読書の可能性や喜びをもたらしたいという、強い思いからでした。戦時下の厳しい社会状況の中でも点訳奉仕活動を始めてくださる方があり、蔵書は次第に増えました。戦後は社会の疲弊で苦しい事業運営が続きましたが、点訳奉仕者や寄付者の皆様のお力添えで、本間の奮闘が支えられました。

現在の当館は、点字だけでなく朗読録音やテキストデータの図書も製作し、提供しています。点字で基盤を築くことができた事業が、このように発展しました。その結果、視覚障害者の読書手段は複数に増え、読書の目的や個人の都合で図書の形態を選べるようになりました。そうした背景に加え、点字触読の技術習得が容易ではないこともあって、近年は点字の使用が減っています。しかしながら、点字ならではの利便性や可能性も少なくありません。それゆえ、当館は点字での図書製作や情報提供にこれからも力を注ぎ、点字の有効活用の更なる普及に努めて参ります。その取り組みを含む当館の事業に引き続きご支援を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

2024 年度事業のあらまし

館 長 立花 明彦



グローバル社会と言われる中で世界情勢は不透明化し、私たちの社会にあっては物価高騰が相次ぎ、暮らしへの影響が顕著になっています。こうした情勢は当館の事業運営にどのような影響をもたらすか不安は尽きませんが、2024 年度が幕を閉じました。1 年間の事業を振り返ってみると、事業計画として掲げた事柄は概ね達成できており安堵しています。

事業の根幹である図書貸出では、点字図書の場合、昨年度実績を若干上回り、目標としたタイトル数の実績を収めました。ヘビーユーザーと言われる高齢の方々の利用が減少する中で、録音図書の貸出はほぼ昨年度並みを維持できています。

利用者ニーズの高い日本文学（小説）を中心に、社会で話題になったり、注目されたりしている図書をいち早く提供すべく、即時製作の選書に努め、他館に先駆けて複数の図書の製作着手につなげました。

若い世代の利用の拡大を図る取り組みでは、従来の実施内容に加え、視覚障害関係の特別支援学校へ出向き、保護者へ視覚障害者の読書手段や当館のサービスの紹介を行い、児童の利用登録に結び付けることができました。

業務体験や視覚障害者についての理解を深める機会としての「にってんワークショップ」は、新たなテーマを設定して年 7 回（参加者数 108 名）と好評をいただきました。

読書バリアフリーを巡っては図書館界の雑誌のいくつかが読書バリアフリーについての特集を組むケースが相次ぎ、その一環で点字図書館の立場での原稿執筆の依頼に応えました。また読書バリアフリーに関連する図書を企画する出版社の取材協力にも複数回対応しました。これらは、当館の存在と事業を PR する機会にもなったと言えます。

決算は昨年比して赤字を免れることができ胸を撫で下ろしています。とはいえ、根本的な改善を行っての結果ではないために、糠喜びにならぬようにせねばなりません。

社会情勢の影響を受け、企業や団体の運営、個々人の生活が厳しさを増しつつある中で、当館の状況や事情をご理解いただき、お力添えをくださった皆様に、ここに改めて深く感謝申し上げます。各事業の実績につきましては、次ページ以降をご参照くださいませ。

2024 年度 事業の実績

図書情報サービス

利用登録者数：12,914 名

新規収蔵図書数：点字図書 628 タイトル、録音図書 734 タイトル

蔵書総数：点字図書 23,781 タイトル (86,762 冊)

録音図書 27,526 タイトル (53,494 巻)

貸出数：点字図書 (冊子) 4,978 タイトル、録音図書 (CD) 66,717 タイトル

ダウンロード提供数：点字図書 545 タイトル、録音図書 96,645 タイトル

月刊録音雑誌「にってんデイジーマガジン」を 62,082 枚配布

専門対面リーディングサービス利用実績：延べ 236 名、500 時間

レファレンスサービスによる情報提供数：50,474 件

図書製作事業

製作数：点字図書 170 タイトル (746 冊)、音声デイジー図書 326 タイトル (2,561 時間) テキストデイジー図書 204 タイトル、マルチメディアデイジー図書 6 タイトル (21 時間)

ボランティア数：点訳ボランティア 56 名、朗読ボランティア 46 名

デイジー編集ボランティア 11 名、テキストデイジー編集ボランティア 30 名

録音図書ネットワーク製作システム参加ボランティア 78 名

クラウドソーシング型図書校正参加ボランティア 557 名

視覚障害者用具の販売あつ旋

年間取扱点数：946 種、79,800 点

新規取扱商品：携帯型マルチプレーヤーセンスプレーヤーライト、らくらく糸通し、フチ付きまな板ミニ、ガラスつめやすリ、サイレントアンブレラ、GRUS 音声見守り温湿度計、5 倍拡大鏡付きコンパクトミラーなど

厚生労働省委託・補助事業

〔視覚障害者用図書事業〕

点字図書：30 タイトル (6,825 冊) 製作、延べ 280 タイトル (885 冊) 貸出

録音図書：音声デイジー図書 15 タイトル、マルチメディアデイジー図書 6 タイトル製作、延べ 655 タイトル貸出

〔盲人用具の販売あつ旋〕

盲人用具 15 種、14,540 点

〔視覚障害者等情報総合ネットワーク管理事業 (サピエ図書館)〕

会員数：個人会員 21,572 名、施設・団体会員 490 団体

提供数：

- ・点字データ 274,018 タイトル
- ・音声デイジーデータ 129,305 タイトル
- ・テキストデイジーデータ 17,379 タイトル
- ・マルチメディアデイジーデータ 539 タイトル
- ・目録 1,260,524 タイトル

利用数：

- ・点字データ 延べ 431,313 タイトル
- ・音声デイジーデータ 延べ 3,735,410 タイトル
- ・テキストデイジーデータ 延べ 239,558 タイトル
- ・マルチメディアデイジーデータ 延べ 5,475 タイトル
- ・目録検索 2,593,912 件
- ・オンラインリクエスト 210,799 件

その他、全国の点字・公共図書館等に 50,474 件の情報を提供。

自立支援事業

相談支援：基本相談 390 件

自立訓練（生活訓練）：実人数 95 名、延べ回数 2,652 回

医療機関に出向いての相談会：5 回

東京都委託事業

〔点字図書の製作・貸出〕

- ・点字図書：46 タイトル（328 冊）製作、延べ 174 タイトル（666 冊）貸出

〔声の図書の製作・貸出〕

- ・声の図書：76 タイトル（380 枚）製作、延べ 2,540 タイトル（2,550 枚）貸出

〔希望図書の製作〕

- ・個人の希望する点字図書：88 名・154 件、声の図書：42 名・108 件

〔視覚障害者用図書レファレンスサービス〕

- ・都内の視覚障害者、施設団体に対し 24,743 件の情報提供

海外支援事業

〔池田輝子基金〕

マレーシアを拠点に第 20 回池田輝子 I C T 奨学金事業を実施。参加者 6 名

〔一般社団法人霞会館助成〕

一般社団法人霞会館の助成により、ネパール連邦民主共和国にてネパール盲人協会の協力を得て、点字教材の制作方法の講習と点字プリンタ 1 台の提供と操作指導を行った。

本部事業

〔ふれる博物館〕

・ 第 14 回企画展「バードタッチング」

会期：2024 年 5 月 22 日（水）～9 月 28 日（土）（53 日間）、来場者：361 名

協力：国立科学博物館、N P O 行徳自然ほごくらぶ、内山春雄（野鳥彫刻家）、
島 絵里子（北海道大学大学院文学院博物館学研究室）

・ 第 15 回企画展「イタリアン触堂」

会期：2024 年 11 月 20 日（水）～2025 年 3 月 22 日（土）（49 日間）、

来場者：369 名

協力：渡辺哲也（新潟大学）

〔視覚障害者関係墨字資料（奥村文庫）〕

新規収蔵 600 点、来室者 682 名、レファレンス 785 件、複写サービス 51 枚

チャリティコンサート

第 22 回本間一夫記念日本点字図書館チャリティコンサート「澤 和樹&梯 剛之 デュ
オコンサート」

2024 年 11 月 24 日（日） 東京文化会館小ホール 来場者：461 名

川崎市視覚障害者情報文化センター（設置：川崎市／指定管理事業者：日本点字図書館）

・ 利用登録者数：519 名、309 団体

・ 蔵書数：点字図書 3,882 タイトル（13,506 冊）、録音図書 7,065 タイトル

・ 貸出数：点字図書 386 タイトル、録音図書 6,930 タイトル

・ ダウンロード提供数：点字図書 29 タイトル、録音図書 3,805 タイトル

・ 図書製作：点字図書 40 タイトル、音声デージー図書 54 タイトル、テキストデージー
図書 2 タイトル、シネマ・デージー／音声ガイド 7 タイトル

・ 訓練事業：生活訓練 1 名、歩行訓練 9 名、パソコン訓練 1 名、I C T 訓練 4 名、点字
訓練 3 名

・ 用具の展示と販売紹介：展示点数 420 点、販売紹介点数 1,564 点

・ イベントの開催：センターまつり、音声ガイド付き映画体験上映会、コンサート、ヨ
ガ教室、訓練生屋外交流会 他

投票用紙記名補助具 透明・黒

～見えない、見えにくい方の「自分で書きたい」を応援します～

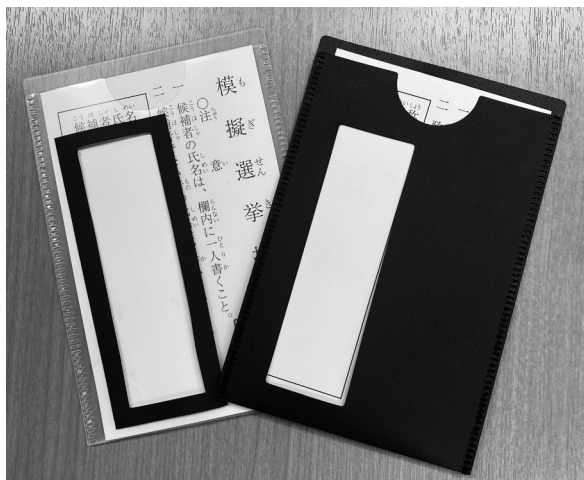
日本点字図書館「わくわく用具ショップ」では、視覚に障害のある方が投票時に安心して記名できるよう、「投票用紙記名補助具」を製作・販売しています。

この補助具の開発のきっかけは、ある自治体でロービジョン（弱視）の方から「自分で候補者名を書きたい」との声を受け、職員がクリアファイルを投票用紙サイズにカットし、候補者名記入スペースをくり抜いて手作りした、という新聞記事を目にしたことでした。このような現場発の工夫は、その後、他の自治体でも広がりを見せ、同様の手作り補助具の導入事例が各地で報告されるようになりました。そしてこの度、荒川区選挙管理委員会より「製品としての導入を検討したい」というご相談をいただいたことを契機に、都内数か所の選挙管理委員会からのご意見も取り入れながら、商品化に取り組みました。

素材にはポリプロピレン樹脂を採用し、投票用紙サイズの袋状で、記名スペース部分をくり抜いた形状です。投票用紙がズレないように、挿入口は一方のみとし、記入する窓枠部分が触ってわかりやすい厚みのある生地を使用。色は投票用紙を目視しやすい「透明」と、記名スペースが際立つ「黒」の2種類をご用意しました。透明タイプの記名スペース周囲には、5mm 幅の黒枠を印刷し、記名位置を視覚的に認識しやすく工夫しています。

2024年4月より荒川区をはじめ、都内複数の自治体導入が進められ、現在は都内で約20か所、全国では約40か所の自治体にて採用されています。

自治体職員の市民に寄り添う気持ちから生まれたこの補助具が、より多くの投票所で誰もが安心して使える備品となることを願っております。



投票用紙記名補助具

◆◆ ご寄付へのお礼とご報告 ◆◆

2024 年度は、皆様から以下の通りご厚志を賜りました。

総件数 6,815 件 (前年度 7,146 件)
総額 127,111,608 円 (前年度 89,845,343 円)

その内訳をご報告いたします。

3,000 円未満	479 件	10 万円以上 50 万円未満	98 件
3,000 円以上 5,000 円未満	1,969 件	50 万円以上 100 万円未満	7 件
5,000 円以上 1 万円未満	1,875 件	100 万円以上	15 件
1 万円以上 10 万円未満	2,372 件	合計	6,815 件

2024 年度も篤志ある皆様のご協力により、多額のご寄付を頂戴いたしました。心より感謝申し上げます。

ご厚志をお寄せくださいました皆様、誠にありがとうございました。

このうち、9 件はご遺贈として頂戴いたしました。謹んで故人様のご冥福をお祈り申し上げますとともに、ご遺族ならびに関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。

◆◆ 募金箱設置にご協力いただいた企業・団体 ◆◆

募金箱設置にご協力いただきました企業・団体のお名前です。26 団体の皆様から、合計 677,887 円のご協力を頂戴いたしました。

団 体 名 (五十音順)	
朝日信用金庫	ザ ロイヤルパークホテル アイコニック 東京汐留
医療法人社団雄飛会 平岡眼科医院	指圧ハウス うえるかむ
医療法人湘山会 眼科三宅病院	自家焙煎 珈琲舎ロッセ
イル クッキアイオ ディ アンジェロ	湘北短期大学図書館
N P O 法人千夜一夜座	ステーキ屋ひろ
小田急ホテルセンチュリーサザンタワー	林歯科医院
オリンピッククリニック井上眼科	復明堂眼科医院
柿島屋	富士レークホテル
カモシカスポーツ	H A I R D O O R
カラオケ館高田馬場店	吉川眼科クリニック
カラオケ館高田馬場 2 号店	リストランテ 文流
キリンシティ 高田馬場店	リッチなカレーの店 アサノ
国稀酒造株式会社	和創さくらの庭

◆◆ 愛のポストカード運動へのご支援 ◆◆

当館では、書き損じはがきや未使用のはがきをご寄贈いただいております。郵便局で切手に交換して日常業務に不可欠な通信費の一部に充当させていただいております。

2024 年度は 131 名・4 団体様からご寄贈いただき、書き損じはがきから切手への引き換え金額は 897,396 円になりました。

◆◆ ご寄付いただいた主な企業・団体 ◆◆

当館にご寄付いただきました主な企業・団体のお名前です。昨年度 448 団体の皆様から、合計 14,855,337 円のご協力を頂戴しました。紙面の都合上、ご協力いただきました企業・団体すべてを掲載できず、申し訳ございません。全団体は当館ホームページにてご覧いただけます。

団 体 名 (五十音順)	
イオンフィナンシャルサービス株式会社	宗教法人真福寺
一般社団法人全国銀行協会	宗教法人浅草寺
一般財団法人報国積善会	真宗大谷派聞明寺
医療法人社団樹の花会 立花クリニック	眞福寺
医療法人社団雄飛会 平岡眼科医院	全国友の会
大西眼科	つながる募金
学習院女子中高等科図書委員会	東京第一友の会
神奈川県眼科医会	東京 I ゾンタクラブ
株式会社偕成社	ニシフミート株式会社
株式会社ストームレーベルズ	日本出版販売労働組合
株式会社清和産業	P F U 労働組合
株式会社セゾンテクノロジー	密厳院
株式会社 TAKARA & COMPANY	三菱商事株式会社
株式会社ニデック	三菱食品株式会社
株式会社日本財託	有限会社生生メディカル
株式会社日立ビルシステム	有限会社 F o r Y o u
株式会社ブルースブラッシュ	有限会社ヤマニ大門
河和田屋印刷株式会社	有限会社菱和興産
観音寺	リネットジャパングループ株式会社
晃華学園友の会	

◆◆ 企業ボランティアのご協力 ◆◆

次の企業の社員の皆様から、休憩時間を利用したボランティア活動で、用具事業課で使用する点字シールや、再生紙などを利用した封筒作製にご協力いただきました。心より感謝申し上げます。

旭海運株式会社、東京海上日動安心 110 番株式会社、東京海上日動調査サービス株式会社、日本郵船株式会社、三菱鉱石輸送株式会社、三菱食品株式会社

❖ ワンブック・プレゼント運動へのご支援 ❖

多くの企業・団体と個人の皆様からワンブック・プレゼント運動にご支援いただきました。この運動は、一口10万円単位のご寄付を点字図書・録音図書の製作費用に充てさせていただくものです。完成した図書には、ご寄付くださった企業・団体・個人の方のお名前やメッセージなどを表示して、利用される読者の方に皆様のご支援の一端をお伝えいたします。

点 字 図 書		録 音 図 書	
協力者	口数	協力者	口数
イオンマーケティング株式会社	18	イオンマーケティング株式会社	35
三菱UFJ信託銀行株式会社	5	三菱UFJ信託銀行株式会社	12
共同印刷株式会社	3	あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	5
塚田 哲夫	2	ハウス食品労働組合	3
川嶋 あつ子	1	はんだこどもクリニック	3
小林 澄人	1	大竹 玉枝	2
点訳きつつき	1	株式会社サンセイランディック	2
飛松 一樹	1	株式会社日立ビルシステム	2
中野 香寿美・佑弦	1	下野 恵子	2
日本出版販売労働組合	1	塚田 哲夫	2
古川 京一	1	匿名	2
松井 まり子	1	安藤 裕司	1
匿名	1	一般財団法人伊丹エール財団	1
		株式会社ジャパンEAPシステムズ	1
		株式会社ニデック	1
		川嶋 あつ子	1
		小林 澄人	1
		田中 陽一	1
		飛松 一樹	1
		ハーチ株式会社	1
		匿名	1
点字図書 合計 13 件	37 口	録音図書 合計 21 件	80 口
点字図書、録音図書 総計 117 口			

◆◆ 企業や団体からのご助成 ◆◆

団 体 名	入金額(円)	助 成 内 容
イオンリテール株式会社	64,000	「イオン 幸せの黄色いレシートキャンペーン」による助成
一般財団法人 NHK 財団	2,000,000	テレビ・デジターの製作・貸出
一般財団法人日本宝くじ協会	2,500,000	点字図書と録音図書の製作・貸出
一般社団法人霞会館	1,000,000	視覚障害者支援団体への点字プリンタの提供と操作指導（於ネパール連邦民主共和国）
大阪府民共済生活協同組合	1,000,000	点字図書と録音図書の製作・貸出（視覚障害者の情報収集支援事業）
株式会社岩波書店	240,000	岩波新書等の録音版の製作・貸出
株式会社セゾンテクノロジー	1,200,000	録音雑誌収録用スタジオ機器購入の助成
株式会社文藝春秋	960,000	録音雑誌「文藝春秋」の製作・配布
教職員共済生活協同組合	2,000,000	点字図書と録音図書の製作・貸出（視覚障害者の情報収集支援事業）
公益財団法人 JKA	2,909,000	月刊録音雑誌「医学研究」及び「ホームライフ」の製作・配布（障がいのある人が幸せに暮らせる社会を創る活動補助事業）
公益財団法人鉄道弘済会	1,800,000	録音雑誌「ブックウェブ」の製作・配布
公益財団法人一ツ橋総合財団	5,000,000	録音図書「一ツ橋文庫」の製作・貸出
		テキストデジター図書の製作・提供
		録音図書ネットワーク製作システム「びぶりお工房」の維持運用
		シネマ・デジター「NHK スペシャル映像の世紀」の製作・提供
公益財団法人毎日新聞東京社会事業団	100,000	第7回全国視覚障害者囲碁大会開催費
公益信託久保記念点字図書援助基金	317,240	点字図書製作に係るリング製本機の購入
埼玉県民共済生活協同組合	2,000,000	点字図書と録音図書の製作・貸出（視覚障害者の情報収集支援事業）
社会福祉法人新宿区社会福祉協議会	175,000	備品整備・施設整備（株）日本財託助成金
社会福祉法人朝日新聞厚生文化事業団	100,000	第7回全国視覚障害者囲碁大会開催費
社会福祉法人 NHK 厚生文化事業団	100,000	第7回全国視覚障害者囲碁大会開催費
社会福祉法人テレビ朝日福祉文化事業団	100,000	チャリティコンサート開催費
社会福祉法人読売光と愛の事業団	700,000	専門対面リーディングサービス事業
		ロービジョンサービス事業
		視覚障害者就労支援のための機器購入費
全国生活協同組合連合会	2,000,000	点字図書と録音図書の製作・貸出（視覚障害者の情報収集支援事業）
全国ラジオチャリティミュージックソン実行委員会	1,000,000	録音図書のデジター編集作業費
全国労働者共済生活協同組合連合会	1,000,000	点字図書と録音図書の製作・貸出（視覚障害者の情報収集支援事業）
東京新聞社会事業団 (社会福祉法人中日新聞社会事業団 東京支部)	150,000	録音雑誌提供のための CD 複製機の購入

◆◆ チケット購入にご協力いただいた主な企業・団体のお名前 ◆◆

当館が主催したチャリティコンサートのチケット購入にご協力いただいた主な企業・団体のお名前です。11 団体の皆様から、合計 160,000 円のご協力を頂戴しました。団体名は、当館ホームページにてご覧いただけます。

団 体 名 (五十音順)	
一般財団法人AVCC	徳雲院
株式会社サン・データセンター	白泉寺
株式会社西武洋紙店	P F U労働組合
公益財団法人すこやか食生活協会	有限会社大橋洋紙店
社会福祉法人視覚障害者支援総合センター	有限会社瀬川商店
東京Iゾントクラブ	

◆◆ イベント協賛・広告掲載をいただいた企業 ◆◆

当館が主催したチャリティコンサートへの協賛、また当館発行機関紙「にっぺんフォーラム」に広告掲載のご協力をいただきました。心より感謝申し上げます。

株式会社イオン銀行、株式会社マルハチ村松、国稀酒造株式会社、イオンフィナンシャルサービス株式会社、シナノケンシ株式会社、特定非営利活動法人メディア・アクセス・サポートセンター、三菱電機株式会社

◆◆ 池田輝子基金事業のご報告 ◆◆

高田馬場の篤志家・池田輝子氏より寄贈されたマンション2棟の家賃収入をもとに、3つの基金事業を実施しました。

1. 池田輝子記念文庫製作事業
- スタジオ録音及びデイジー編集により、91 タイトルの録音図書を製作。
2. ふれる博物館事業
- ・バードタッチング 協力：国立科学博物館、NPO行徳自然ほごくらぶ、内山春雄氏（野鳥彫刻家）、島 絵里子氏（北海道大学大学院文学院博物館学研究室）

・イタリアン触堂 協力：渡辺哲也氏（新潟大学）

・講演会とワークショップ『骨から探る鳥のふしぎ』 講師：川上和人氏（鳥類学者・国立森林研究所）企画・ファシリテータ：島絵里子氏（北海道大学大学院）

・特別上映会『手でふれてみる世界』とトークショー 岡野晃子監督、大内進氏（独立行政法人国立特別支援教育総合研究所名誉所員）
3. 池田輝子 ICT 奨学金事業
- 2024 年 6 月 24 日～7 月 6 日 ICT 訓練中級コース 参加者 6 名

◆◆手数料免除口座利用にご協力いただきありがとうございます◆◆

2024 年度も皆様より多大なご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

昨年度の「感謝録」に手数料免除口座開設のご案内を掲載いたしました。その後、寄付者の皆様には手数料免除口座用（青色）・手数料当館負担口座用（赤色）の 2 種類の払込取扱票を添え、ご寄付のお願いをお送りいたしましたところ、当館の予想を上回り 6 割を超える方々が手数料免除口座へ寄付金をお振込くださいました。お忙しい中、窓口にてお手続きいただきまして、深く感謝申し上げます。おかげ様で 2023 年度に比べ、寄付金払込手数料を 5 0 万円以上も削減することができました。

昨年度、手数料免除口座をご利用くださいました方々には今回は「青色」の払込取扱票のみお入れしておりますが、不都合がございましたらご連絡ください。

また読者の皆様にはこの度、青色と赤色 2 枚をお入れしております。用紙に区別を施しておりませんので、窓口でお手続きいただける場合には 2 枚ともお持ちいただき、窓口にて青色を選んでいただきますようお願い申し上げます。

手数料免除口座への払込は A T M の対象外となっており、皆様にはご不便をお掛けいたしますが、お寄せいただく寄付金を運営費として活用させていただくため、引き続きご理解を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

ゆうちょ銀行 寄付金専用手数料免除口座
口座番号：00180-2-792949

払 込 取 扱 票									
99	口 座 記 号 番 号								
0	0	1	8	0	2	7	9	2	9
金額						千 百 十 万 千 百 十 円			
社会福祉法人 日本点字図書館						料 金			
※ 窓口での払込料金は無料です。本紙の A T M での使用はできません。						備 考			
ご依頼人・通信欄						日 附 印			
ご住所 〒									
フリガナ お名前									
(電話番号 - -)									
ご依頼人欄に、おとこ・おなまえをご記入ください。(承認番号東第 62751 号) これより下部には何も記入しないでください。									

振替払込請求書兼受領証									
口 座 記 号 番 号									
0	0	1	8	0	2	7	9	2	9
金額						千 百 十 万 千 百 十 円			
社会福祉法人 日本点字図書館						お名前			
ご依頼人						様			
料金 (消費税込)						日 附 印			
円									
備考									
この受領証は、大切に保管してください。									

決算のあらまし

2024年4月1日から2025年3月31日

単位（千円）

事業活動による収支（収入）	
障害福祉サービス事業収入	33,080
点字図書館事業収入	589,820
盲人用具販売事業収入	377,800
マンション経営事業収入	42,705
本部事業収入	2,722
経常経費寄附金収入	139,411
受取利息配当金収入	5,759
その他の収入	10,783
事業活動収入計(1)	1,202,083
事業活動による収支（支出）	
人件費支出（法人負担分）	337,387
委託・補助金事業人件費支出	257,261
事業費支出	379,878
事務費支出	125,162
支払利息支出	704
その他の支出	39
事業活動支出計(2)	1,100,434
事業活動資金収支差額（3=1-2）	101,649
施設整備等による収支（収入）	
施設整備等補助金収入	10,058
施設整備等収入計(4)	10,058
施設整備等による収支（支出）	
設備資金借入金元金償還支出	9,259
固定資産取得支出	8,143
ファイナンス・リース債務の返済支出	11,747
施設整備等支出計(5)	29,149
施設整備等資金収支差額(6=4-5)	△ 19,091
その他の活動による収支（収入）	
積立資産取崩収入	66,100
その他の活動による収入	236
その他の活動収入計(7)	66,336
その他の活動による収支（支出）	
積立資産支出	98,100
その他の活動による支出	5,870
その他の活動支出計(8)	103,970
その他の活動資金収支差額（9=7-8）	△ 37,634
当期資金収支差額合計(10=3+6+9)	44,923
前期末支払資金残高(11)	117,687
当期末支払資金残高(10+11)	162,611

※千円未満・切り捨て表示のため、内訳の合計と合計欄の金額が一致しない場合があります。

日本点字図書館のあゆみ

1940（昭和15）年	全盲の青年 本間一夫が日本盲人図書館（現在の社会福祉法人日本点字図書館）を創立 蔵書700冊
1945（昭和20）年	戦災により本館焼失 貸出は疎開先で継続
1948（昭和23）年	焼け跡に仮建築で再出発 日本点字図書館に改称
1952（昭和27）年	社会福祉法人となる
1953（昭和28）年	本間一夫が朝日社会奉仕賞受賞
1954（昭和29）年	厚生省から点字図書製作事業の委託を受ける
1958（昭和33）年	声のライブラリー発足 テープ50巻、レコード1台
1960（昭和35）年	「中途失明者のための点字教室」を開始
1966（昭和41）年	視覚障害者用生活用具の開発と普及事業を開始
1976（昭和51）年	声の図書の「カセットテープ化」を開始
1989（平成元）年	厚生大臣特別表彰（身体障害者福祉功労団体）を受賞
1991（平成3）年	パソコン点訳者養成事業開始
1994（平成6）年	アジア盲人図書館協力事業開始
1996（平成8）年	専門対面リーディングサービス開始
1998（平成10）年	国費による新別館完成 皇后陛下ご臨席のもと新館披露の式典開催
1999（平成11）年	デジタル録音図書（CD図書）の製作・貸出開始
2003（平成15）年	本間一夫と日本点字図書館が、第10回井上靖文化賞を受賞 ロービジョンサポート事業開始 創立者本間一夫他界（享年87歳）
2004（平成16）年	録音図書ネットワーク配信サービス「びぶりおネット」開始
2005（平成17）年	ユニバーサルデザイン推進室（UDラボ）設置 録音図書ネットワーク製作システム（びぶりお工房）開始
2007（平成19）年	アジア太平洋障害者の10年の中間年記念 内閣総理大臣表彰受賞
2008（平成20）年	チャリティコンサートに皇后陛下のご臨席を賜る
2009（平成21）年	CD雑誌「にってんデイジーマガジン」創刊
2010（平成22）年	視覚障害者情報総合ネットワーク「サビエ」開始 「日点みんなの集い」に皇后陛下のご臨席を賜る
2011（平成23）年	カセットテープによる録音図書サービスを終了
2014（平成26）年	川崎市視覚障害者情報文化センターの管理運営開始
2015（平成27）年	塙保己一賞貢献賞受賞
2017（平成29）年	指定特定相談支援事業および自立訓練（機能訓練）事業を開始
2018（平成30）年	日本点字図書館附属池田輝子記念ふれる博物館開設
2020（令和2）年	著作権法における図書館資料の複製が認められる施設に指定される

役 員

理 事 長	長岡 英司
常務理事	立花 明彦 館長
同	伊藤 宣真 本部長
理 事	芦田 真吾 東京都障害者介護給付費等不服審査会委員
同	相賀 昌宏 (株)小学館会長
同	岡本 厚 前(株)岩波書店代表取締役社長
同	迫田 朋子 元 NHK エグゼクティブ・ディレクター
同	寺尾 徹 (社福)浴風会理事長
同	三田 誠広 作家・(公社)日本文藝家協会副理事長
同	渡邊 岳 弁護士
監 事	野田 聖子 弁護士
同	吉田 正則 (公財)日本障害者リハビリテーション協会常務理事

評 議 員

青木 謙城	青木 隆一	稲垣 吉彦	大胡田 誠
加藤真由美	樽松 武男	白井 夕子	菅原 寿彦
杉上佐智枝	福島 智	星川 安之	本間 一明
山口かおる	和波 孝禧		

後援会長 阿刀田 高 (作家)

(敬称は省略させていただきました)



社会福祉法人 日本点字図書館

〒169-8586 東京都新宿区高田馬場1-23-4

電話 (03) 3209-0241 (代 表) FAX (03) 3204-5641

ホームページ <https://www.nittento.or.jp/> Eメール nitten@nittento.or.jp

寄付口座

ゆうちょ銀行 00180-2-792949 (寄付専用 手数料免除)

加入者名：社会福祉法人 日本点字図書館

取引銀行及び普通預金口座番号

みずほ銀行	高田馬場支店	普通	2855735
三井住友銀行	高田馬場支店	普通	92380
三菱UFJ銀行	高田馬場駅前支店	普通	167456

口座名：社会福祉法人 日本点字図書館 フリガナ：フク) ニッポンテンジトショカン

